

合唱劇「府中三景」に対する市長の考えは

市民の文化意識の向上などが図れるものと考え

石川 明男 議員(市政) 合唱劇「府中三景」は、市制施行40周年を記念して発表されたが、近年、公演が行われていない。市民の財産として将来



▲合唱劇「府中三景」

に向けて歌い継ぐことが大切であると考え、府中三景」に対する市長の考えは、市長「府中三景」は、府中囃子や石笛などを取り入れた動きのある合唱劇となっており、曲を通じて、多くの市民に対し、文化意識の向上とふるさと意識の高揚が図れるものと考え。

被災者生活再建システムを創設する考えは

都の動向を注視しながら導入を検討していきたい

村崎 啓一 議員(市友) 災害時に、速やかに被災者の生活再建が進むよう、被災者生活再建システムを創設する考えはないか。

市長 都では、被災者台帳の作成や被災証明書の発行等の機能を備えた災害時都民台帳システム(仮称)の運用を平成30年度には開始すると聞いている。そのため、本市でも都の動向を注視しながら導入について検討していきたい。議員 被災者台帳は国が積極的に作成を検討するよう通知

待機児童解消の預かり保育を拡充させる考えは

子育ての選択肢を広げるため前向きに取り組むたい

増山 明香 議員(市政) 市は、保育所施設の整備を行っているが依然として待機児童が解消されない状況にある。そこで、待機児童解消について前向きに取り組むたい。

市長 本市は、共働き世帯の増加などにより、保育の需要量が供給を上回る状況にあるが、待機児童の解消は優先的に取り組むべき課題の一つと考えているため、解消に向けた方策を積極的に検討していきたい。

緊急河川敷道路整備工事に伴って住吉地区野球場付近に水飲み場を設置できないか

他市の事例を参考に研究していきたい

手塚 歳久 議員(市友) 多摩川河川敷における緊急河川敷道路整備工事は、現在、郷土の森公園周辺で行われているが、近隣のスポーツ施設や郷土の森公園パークセンター場の利用に影響はないか。

都市整備部長 今後、国から道路の位置や構造について説明を受ける予定であるが、施設利用に支障がないよう、国と十分に協議していきたい。議員 市民から、住吉地区野球場付近に水飲み場を設置し



▲住吉地区野球場付近

0歳児の保育料における利用者負担額の増について家庭への負担に配慮すべきでは

保育士の配置基準が高い状況もあり一定の応益負担をお願いするものである

赤野 秀一 議員(共産) 子ども・子育て支援新制度の開始により、市は、保育料における0歳児の利用者負担額を1、2歳児よりも2割高く設定すると聞く。既に



▲保育所にて

子ども家庭部長 0歳児については、安全上のリスク等から保育士の配置基準が高いという状況もあり、一定の応益負担をお願いするものである。議員 非課税世帯や2人以上の子どもが利用する世帯の負担は増やすべきでないと思うがどうか。

木造住宅密集地域などで災害時の危険性解消に向けた調査を行う予定は

地域の要望等を踏まえ調査の必要性を検証したい

稲津 憲護 議員(リベ) 都は、防災都市づくり推進計画を改定し、木造住宅密集地域(木密地域)の改善等に向けた取組を多摩地域においても推進していくとしているが、本市の木密地域におけるまちづくりの考え方について聞きたい。

市長 将来、建築物の老朽化や土地利用の転換時に小規模な開発が進むことで、木密地域が拡大する恐れがある。そのため、まちづくりを進めるに当たっては、市民等との協働により、地区計画の手法を

今後予定している市民協働の取組は

まちづくりカフェなどを実施し市民協働の充実等に努めたい

高津 みどり 議員(公明) 平成26年度から27年度に行った市民協働の取組は、市民協働推進本部 市民協働の推進に関する基本方針等に基づき、市民協働推進シンポジウムや市民提案型協働事業を行ったほか、市独自の取組として、市民協働事業等評価制度などを都内26市で初めて実施したところである。

議員 事業の推進に当たっては、市民が達成感や喜びを実感できるよう、内容の充実を図っていくべきと考える。そこで、今後予定している市民協働の取組について聞きたい。市民協働推進本部長 28年度からは、市が定めた地域課題に係るテーマについて、市民から事業提案をいただき、課題解決につながる行政提案型協働事業を制度化している。また、市民や職員が意見交換を行う市民協働まちづくりカフェやボランティア・初心者向けの講座等を実施することで、市民協働の更なる活性化と充実に向けていきたい。